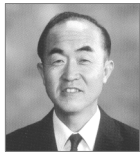


第4回定例 議会報告



金子 卓



堀江 鶴治

デフレ対策は

働く人の所得を 増やしてこそ



日本共産党

今からでも、消費税増税は中止を

自公民3党は、「3党合意」を結び、大増税と社会保障の改悪を共同ですすめようとしています。日本共産党は、多数の国民の声を代弁し、安倍政権と「増税連合」に正面から対決していきます。

デフレ不況の最大の原因は働く人の所得が減り続けていることです。そのときに消費税率が10%になればサラリーマン家庭1か月分の給料(31万1千円)が消費税に消え、消費の縮小で地域経済にも企業経営にも大打撃です。家計消費と内需を直撃する大増税は、デフレ不況化で論外。財政もこわします。

安倍政権の経済対策 失敗ずみの政策ばかり

安倍内閣の経済政策は、デフレ不況脱出にはなんの効果もなかったものばかりです。

内需が冷え込んでいるときに日銀が資金をいくら供給しても、企業の投資にはまわせません。ムダな

大型開発バラマキは経済成長につながらず残ったのは借金。山：失敗ずみの政策をくり返して大増税。これでは事態をさらに悪化させます。

財界応援から、国民の くらし応援の政治へ

身勝手なリストラ・賃下げ
政治の責任でやめさせる

大企業の内部留保260兆円の1%を自社の社員のために使うだけで1万円の賃上げが7〜8割の企業で可能。

人間らしいくらしを 保障するルールをつくる

労働者派遣法の改正で正規雇用を原則にし、均等待遇のルールをつくる。中小企業には国が手当てしながら最低賃金を時給1000円以上に。買ったたきをやめさせ、大企業と中小企業の公正な取引ルールを。

東海 第2原発 「廃炉」請願 陳情の採択は 24市町に

東海第2原発の再稼働阻止・廃炉実現の請願・陳情は、新たに「境町」で採択されました。これで県内自治体の過半数を超え、24自治体となりました(12月20日現在)。

市議会、1066人の再稼働 認めない署名陳情は継続審査

常陸大宮市議会6月議会に新婦人の会の方が中心となり1066人の署名を添えて提出された「東海第2原発の再稼働を認めない陳情」は、12月議会でも結論を出さずに継続審査となりました。

賃上げと雇用拡大で デフレ脱却を



「賃上げでデフレ不況を脱却しよう」と訴える、全労連・国民春闘共闘の経団連包囲行動。＝1月22日、東京・丸の内

新設公営墓地 用地を購入 完成は26年度

当市では若林霊園、石沢霊園、小貴霊園に1052区画が整備されていますが、近年の墓地需要の増加から、現在は新たに使用できる墓地はありません。

今度、候補地として上村田の大宮農村改善センター北側(元養鶏場跡地)の山林1万9619㎡が決定し、1月17日の臨時議会で2844万7550円で購入することを議決しました。

新設される公営墓地整備の概要(案)は、墓地数が500区画以上、墓地規格は4㎡から10㎡の間で完成は平成26年度です。

2013年度

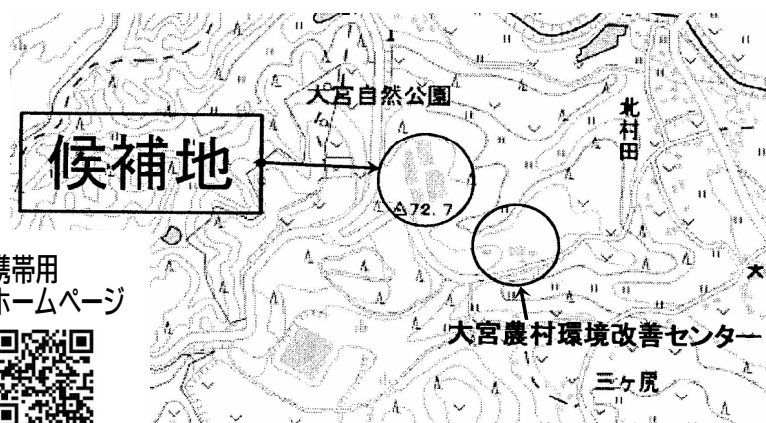
予算要望書を提出

日本共産党の金子・堀江両議員は12月27日、市長と教育長あ

新しい視点 展望しめす
しんぶん 赤旗
日刊紙●月3,400円
日曜版●月 800円

日本共産党のホームページをご覧ください。

<http://www.jcp.or.jp/>



ストップ TPP 混合診療
国民皆保険をまもるため
みなさんと力をあわせよう
日本共産党

ての145項目の「2013年度予算と施策に対する要望書」を提出しました。



日本共産党 常陸大宮市議会報告

2013年2月 第25号 発行/日本共産党常陸大宮市議団

金子卓(岩崎272-4) 堀江鶴治(大岩23)

☎ (52) 2422

☎ (56) 3030

第1回定例議会は
2月26日に開会します
請願・陳情は、2月19日(火)
までお願いします。

新春 日本共産党 演説会

2月17日(日) 午後2時開会

駿優教育会館(水戸市三の丸)

弁士 参院議員 紙 智子

参院茨城選挙区予定候補
小林きょうこ

主催
日本共産党茨城県委員会



紙 智子

日本共産党茨城県委員会は1月18日、記者会見し、参院茨城選挙区(定数2)に小林きょう子氏(62)「新」を擁立してたたかうと発表しました。



一般質問



堀江鶴治議員
12月18日質問

社会保障制度改革推進法
は社会保障を破壊する

日本共産党の堀江鶴治議員は、社会保障制度改革推進法の問題など4項目の一般質問をおこないました。

(堀江議員) 8月10日に成立した社会保障制度改革推進法は、社

第4回定例会議会は12月5日から20日まで開かれました。

1066名の署名を添えて提出されていた「東海第2原発の再稼働を認めない意見書提出を求める陳情」は9月議会に続いて今議会でも結論を出さずに、また継続審査となりました。

今議会には地域主権改革関連の法律改正等により、条例の新規制定・一部改正など多くの議案が提案されました。

一般会計の補正予算で、緒川中学校耐震改修工事設計委託料3255万円、大宮中学校耐震改修工事設計委託料3329万6000

会保障制度を破壊するとてもない悪法であると思います。

(市長) この法は民主・自民・公明の3党合意によって成立。社会保障制度改革国民会議を設置し、そこでの議論を基に、社会保障制度改革をおこなうのが主要なねらいと理解しています。

生活保護費など社会保障費を削るというところ

(堀江議員) 社会保障制度改革推進法では、社会保障に対する徹底した公費、国庫負担金や自治体単独事業や国保への地方財政の繰入など、地方自治体への負担の削減を進め、国民生活のために使うお金を削ろうとしていることです。喫緊の改悪で生活保護の給付水準を引き下げについて国の平成25年度予算編成の中でも、出てきています。

(市長) 生活保護費等社会保障費等の公費の削減も検討されると思われま

税・社会保障費は一人一人の応能負担に応じて

(堀江議員) 社会保障費の財源の集め方は、税であれ、社会保障費であれ、一人一人の能力に応じた負担、応能負担を原則にしなければなりません。最低生活費からは税金を取らないという生計費非課税の原則が徹底されるべきです。(保健福祉部長) 原則的にはそれぞれの所得・収入に応じて負担をしていただくのが原則ですし、そのように負担を求めていると思います。

憲法の規定を棚上げにする推進法ではないのか

円が計上されました。それぞれ工事は26、27年度の2か年計画でおこなわれます。

また、公営墓地特別会計で、新設霊園造成工事設計委託料・土地購入費など新設公営墓地整備費として4749万3000円が計上されました。

2人の教育委員会委員(5人で構成)の任期満了により、菊池泰弘氏(昭和18年生、照田)と星野幸子氏(昭和38年生、鷹巣)が提案され同意されました。

今議会には提出された請願・陳情は、総務常任委員会に付託された「安全・安心社会を実現するため公



進法では、年金・医療・介護などの運営は保険料を基本とし、不足する部分を公費で負担するという憲法25条を棚上げにしている内容であり、このような推進法は実施させないことが大事であると思います。

(市長) 推進法の条文からは、指摘の保険料の範囲内で給付をおこなうというように読み取れません。いずれにしても国民会議での本格的な議論を注視したいと思っています。

その他の質問

■中学校の統合問題(議会広報をご覧ください)

■鳥山御前山線、彦沢線の道路整備

■シイタケ農家支援、原発からの撤退



金子卓議員
12月18日に質問

市内公共交通の見直しを

日本共産党の金子卓議員は、市内公共交通の問題など5項目の一般質問をおこないました。

(金子議員) 議会総務常任委員会は、乗合タクシーを中心とした運行をしている長野県安曇野市の「新・公共交通システム」を視察しました。

いまだ不十分さが指摘されてい

仕事・くらしの悩み

お気軽に相談を

日本共産党

連絡先 ケータイ
金子すぐる議員
090-1994-7696
堀江かくじ議員
090-4824-0797

る当市の公共交通を考える上で必要なのは利用者の実情です。市民バス、民間路線バスのコースごと、時間帯ごとの利用者の実人数はどのくらいでしょうか。

(政策審議監) 現在、市民バスの各コース停留所ごとの乗降者数を調査しています。路線バスの利用者は調査していません。

(金子議員) 市民バスと路線バスは競合しているコースがありますし、乗合タクシーとはすべてのコースが競合しています。山方・美和・緒川などでは病院等へのバスが以前から定着していますので、これらも含めて利用者の実情をしっかりと把握し、当市の公共交通計画は見直すべきと考えます。

(政策審議監) (市民バスの)有料化の問題、民間路線バス等の問題もあるので、全体的な見直しをするには現時点でいとは言えないが、できるだけ近いうちに計画を見直し、持続可能な市の公共交通を確立していきたくと考えています。

(市長) 私もこの公共交通は最初から思い入れが強いので、一生懸命努力させてもらうことを金子議員の質問に対する現時点での答弁とします。

(金子議員) 私は安曇野市の新・

公共交通システムを視察してデマンド型交通システム「乗合タクシー」の大きな可能性を再認識しました。当市の連携計画の柱である「市民バスを主とし、乗合タクシーを従とした市内公共交通」そのものを抜本的に見直すべきと考えます。

安曇野市では5地域を各2台の10台で運行し、4台はそれぞれのサポートとして活用しています。それで年間9万人の利用者です。

当市においても、現在のコンピューターのシステムでは10台まで制御可能と聞いています。緒川と美和を一緒にして4地域を各2台の8台で運行し、2台はそれぞれのサポートとして活用することで利用者の需要に十分応えられると考えます。

もちろん料金を見直す(現在の乗合タクシー300円を低く)ことも必要です。市内公共交通は、過疎化と高齢化の進む当市にとつて、持続可能ということではなく、持続・維持する必要があります。

その他の質問

■「道の駅」整備事業(議会広報をご覧ください)

■要介護者・生活保護者の原因疾患

■国民健康保険の広域化と国保税

■公民館分館の活動費、事業費、配置